

平成 22 年 12 月 2 日

Vietnam Posts and Telecommunications Group(ベトナム郵電公社) との覚書の締結について

- NTT 東日本は、ベトナム最大手の電気通信事業者である Vietnam Posts and Telecommunications Group(ベトナム郵電公社、以下 VNPT)と、共同でワーキンググループを設置し、ベトナムでの FTTH・NGN 分野における今後の共同ビジネスの事業性を検討する旨の覚書を本日締結いたしました。
- 外国通信事業者と FTTH や NGN を活用した事業性の検討を行うのは今回が初めてとなります。

1. 背景

NTT 東日本のグループ会社である NTT ベトナムは、平成 9 年より VNPT との事業協力契約(BCC^{※1})に基づき、ベトナムにおいて、約 24 万回線の電話回線の建設及び事業運営指導を行ってきました。

また、NTT 東日本はこれまでに、VNPT グループによる特定のエリアでの FTTH 商用化に向けた支援等を行ってきており、平成 19 年にはタンロン工業団地、平成 21 年には野村ハイフォン工業団地において、FTTH のトライアルを開始し、前者においては既にトライアルの結果を受けて、VNPT ハノイ^{※2}による商用サービスが始められています。

このような背景の下、今回 VNPT と NTT 東日本の間で共同ワーキンググループを設置し、ベトナム国内での FTTH・NGN 分野における今後の共同ビジネスの事業性を検討する旨の覚書を本日締結いたしました。

※1 Business Cooperation Contracts の略。国外の通信事業者が資金と技術を経営主体である現地国内の通信事業者に提供し、その見返りに事業収入から一定期間に一定シェアの収入を得る契約方式。

※2 VNPT グループにおいて、地域通信事業を担っている会社

2. 覚書の内容

VNPT と NTT 東日本のメンバーからなるワーキンググループを共同で設置し、ベトナム国内における以下の内容に関する検討を行ってまいります。

- (1) FTTH・NGN 分野におけるマーケティング・設備構築・営業・保守運用等の調査・検討
- (2) 新サービス導入に向けたフィールドトライアルの検討
- (3) 今後の共同ビジネスの事業性の検討

<調印式の模様>



いずれの写真も 中央左:VNPT 会長 ファム・ロン・チャン 氏
中央右:NTT 東日本 社長 江部 努

3. 今後の展開

NTT 東日本は、日本国内において FTTH や NGN を構築してきた経験を活かし、外国通信事業者と協力の上、広帯域で高品質かつ信頼性の高いブロードバンドサービスの実現に寄与していくことにより、これからも情報通信分野の発展に貢献していきます。